

# 京都大学理学部・理学研究科数学教室同窓会 2023年度第1回役員会議事録

出席者：井川満，重川一郎，吉田敬之，池田保，木坂正史，吉川謙一，菊地克彦，岸本展，田中紀子

## 1. 報告

2022年度は役員会が開催されなかった。役員会開催に先立ち，井川満会長より2022年度の役員会の招集を行わなかったことに対するお詫びがあった。

2021年度および2022年度活動報告

### (1) 2021年度(2021年6月1日～2022年5月31日)活動報告

- (a) 2021年8月25日に同窓会誌5号を出版し，当会が把握している会員に送付した。
- (b) コロナ禍が収束しなかったため，総会行事は行わなかった。
- (c) 2021年度の京都大学全体の学位記授与式は，学部卒業生を対象とするもの，および修士課程修了者を対象とするものともに2022年3月24日に岡崎の“みやこめっせ”で開催された。前川専攻長の指揮の下，数学教室主催の学位記授与式が理学部数理学系卒業者に対しては13時30分から，理学研究科数学・数理解析専攻数学系修士課程修了者に対しては16時30分から，ともに理学研究科セミナーハウスで挙行された。同窓会からは会長が祝辞を述べるとともに，同窓会からのお土産を手渡し，卒業，修了後の連絡先の記入を願った。

### (2) 2021年度会計報告

2022年6月20日に，吉川謙一経理担当常任幹事により作成された2021年度会計報告を，稲生啓行，および徳田裕也両監査役が監査した。両監査役によって会計は適切に管理されていることが認められた。

### (3) 2022年度(2022年6月1日～2023年5月31日)活動報告

- (a) 2022年8月25日に同窓会誌6号を出版し，当会が把握している会員に送付した。
- (b) コロナ禍が収束しなかったため，総会行事は行わなかった。
- (c) 2022年度の京都大学全体の学位記授与式は，学部卒業生を対象とするもの，および修士課程修了者を対象とするものともに2023年3月24日に岡崎の“みやこめっせ”で開催された。前川専攻長の指揮の下，数学教室主催の学位記授与式が理学部数理学系卒業者に対しては13時30分から，理学研究科数学・数理解析専攻数学系修士課程修了者に対しては16時30分から，ともに理学研究科セミナーハウスで挙行された。同窓会からは会長が祝辞を述べるとともに，同窓会からのお土産を手渡し，卒業，修了後の連絡先の記入を願った。卒業，修了後の連絡先の記入については，吉川常任幹事

が作成した Google Form から入力できるようにした。授与式にて撮影された写真は、ファイルとしてメールで送付した。

(4) 2022 年度会計報告

2023 年 7 月 4 日に、吉川謙一 経理担当常任幹事により作成された 2022 年度会計報告を、稲生啓行、および徳田裕也 両監査役が監査した。両監査役によって会計は適切に管理されていることが認められた。

## 2. 議事

(1) 2021 年度、2022 年度の活動報告が承認された。

(2) 2021 年度、2022 年度の会計報告、監査報告が承認された。

(3) 2023 年度総会行事

2023 年 10 月 28 日に開催の予定。

講演会の講師は富永星氏 (翻訳家)。

なお講演会に関して 2020 年度に、石川博氏 (早稲田大学) に、コロナ禍で総会行事が開催できない可能性があること、およびコロナ禍収束後に講演してもらうことをお含みのうえで、講演の承諾をいただいていた。今回講演会を計画するに先立ち石川氏にご意向を伺ったところ、ご家庭の事情により正式にお断りの連絡をいただいた。

懇親会会場は北部生協 2 階。

(4) 愛称募集

愛称募集は、2019 年度の総会で 2020 年 7 月 31 日まで延長することが認められ、その結論を 2020 年度に出すことになっていた。しかし、2020 年度は対面での役員会、および総会が開催できず、2021 年度も総会が開催できなかった。この課題の性質上、慎重な議論を要することであるので、結論は通常の形の総会が開けるまで先送りすることになっていた。その後、幾つかの応募があったが、愛称案全体として大きな進展はなく、愛称選定を見送ることを役員会として承認した。応募者に対しては、井川満会長よりお詫びの手紙を送付する。

(5) 同窓会誌

同窓会誌 7 号は通常通り発行・配布する。

(6) 学位記授与式

京都大学全体の 2023 年度の学位記授与式は、コロナ感染状況に大きな変化がなければ、学位記授与式は実行できそうである。開催される場合は、同窓会はその開催に協力し、祝辞を述べるとともに記念品を渡す予定である。

(7) 会計の余裕分について

2022 年度の決算報告にあるように、2023 年度への繰越が 428 万円ある。この余裕分の、同窓会の存在意義に沿った活用法を今後検討する。

(8) 2024 年度、および 2025 年度の役員人事

井川満会長より、2023 年度終了時に退任の意向が伝えられた。

2024 年度からは、副会長 2 人体制をとることを総会に諮ることが承認された。